

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「音楽のまち・こもろ」ミニコンサート開催事業
事業主体 (連絡先)	小諸市 (小諸市教育委員会 文化財・生涯学習課 0267-22-1700 内線：2283)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,582,944 円 (うち支援金： 959,000 円)

事業内容

小諸市市民交流センター内の多目的ホールに音響反射板を導入することで、演奏会に適した環境を整備した。

また、月に1回市主催で同ホールを会場としてミニコンサートを開催した。出演者は、プロ・アマ問わず公募により集めた。プロの一流の音楽に触れる機会、アマの貴重な発表の場を創出することで、音楽文化の振興を図った。



【 6月開催のミニコンサート 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 演奏会の開催が、前年の同時期より2回増加
- ② プロ4組・アマ5組・長野県小諸高等学校音楽科3回出演。鑑賞者は、平均73名。
アマの出演者からは、コンサート開催に概ね好評で、次の出演を希望される方もいた。

【目標・ねらい】

- ① 音楽に適した環境の整備
- ② ミニコンサートの開催
プロの一流の音楽に触れる機会及びアマの貴重な発表の場を創出
長野県小諸高等学校音楽科との協働

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

長野県小諸高等学校音楽科との協働を軸として、プロ・アマ問わず様々なジャンルや多くの方が出演できるように、周知する。

また、一人でも多くの方に一流の音楽に触れていただけるように周知方法を工夫する。

※自己評価【 B 】

【理由】

音響反射板納品後は、演奏会が増加していること。また、ミニコンサート出演者から、音響反射板の設置やミニコンサート開催について概ね好評だったため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある